

2024
6月号

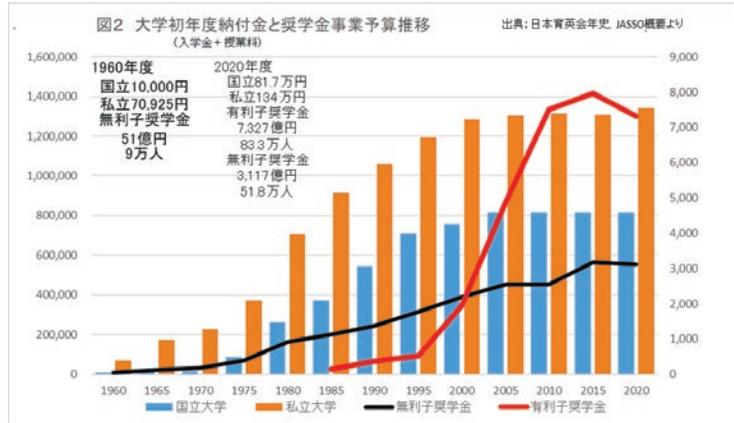
福岡地区労連

発行：福岡地区労働組合総連合
〒812-0016
福岡市博多区博多駅南1-9-8
ケイ・アイビル2F
TEL 092-433-3338
FAX 092-433-3535
Mail : fukuciku@gmail.com



(HPはこちら)

2-1 学費高騰と学生ローンの拡大



13

〈奨学金問題をみんなで考える学習会〉 奨学金ローンで学ぶことは

自分の責任ではない

学生が卒業と同時に100万円単位のローンを背負って就職し、その後の人生で返還している苦しい実態の改善を目的に講演が設定され、福岡県労連大会議室で全労連青年部の稲葉美奈子書記長による、「奨学金問題から何が見える?」と題する講演が行われました。

講演内容は、自民党政治による授業料の引き上げと奨学金のローン化の問題、世界は教育の無償化の実現とい

か?」については、人

権問題、消費者金融問題、雇用・労働問題を上げられました。稲葉書記長を含め参加者からは、奨学金ローンで学ぶことについて、学費を出せない自分の責任だと思っていたことが、労働組合で学ぶことと自分の責任ではないことを知って心が軽くなった発言がありました。

教育予算は将来への最も重要な投資

なぜ奨学金を借りなければならぬのか、奨学金の引き上げと奨学金のローン化が大きい横たわっていることが明らかになりました。1971年(昭和46年)

〈非正規ではたらくなかまの全国交流集会 in 佐賀〉

労働者の人権を守る 社会の実現に向けて

全労連は、6月1日、2日の二日間、佐賀県アバンセで全国非正規集会を開催しました。初日の全体集会では、落語家として古亭菊千代さんによる講演がされました。菊千代さんからは「落語家こそ非正規労働者なんです」と言い、若いころからの落語界のジェンダー問題についても苦勞された経験談を話されました。多くの落語家が政治やジェンダー問題などを演題にしない中で、菊千代さんは

あえてその話をすることでに挑戦していることも話されました。その後のパネルディスカッションでは非正規の現場で働く人たちの報告がされ、待遇はパートで雇われているが、今は店長として配置されたため責任はとらされるなど、現場の矛盾の実態が話されました。二日目は分科会が開催され、今後、新自由(企業)主義による「雇用によらない働き方」の拡大が注目されました。この分科会では、「一人親方、フリーラ



落語界のジェンダー問題を話す古亭菊千代さん

ンス、偽装請負」の3つの報告がされました。分科会で取り上げた偽装請負事件は、(株)福山事件・名ばかりライオン店主裁判ですが、会場からは、こんな事がまかり通っていることに驚きの声が上がっていました。

助言者の梶原恒夫弁護士からは、労働者の権利を奪うことは人権侵害であることが述べられ、「名ばかりライオン店主裁判」は貴重な裁判であり、弁護団の一人として奮闘する決意が述べられました。

(編集委員 内田)

当時の国立大学の授業料は1・2万円、私立大学の授業料は9・1万円と低く、誰でも大学教育を受けられていました。しかし、その後の歴代の自民党政権によって授業料が大幅に引き上げられ、小泉内閣時代に日本育英会が廃止されて奨学金が金融事業にされ、「教育の市場化(＝民営化)」など相次ぐ改悪によって、



全労連青年部 稲葉書記長の講演にweb と会場から多数参加

教育を受ける基本的人権が奪われたことが重大な背景であることを知ることができました。また、諸外国の奨学金と大学の授業料を比較してみても、世界的には授業料の無償化を実現していることも重要なファクターです。

国連のグレース事務総長は、2022年の教育変革サミットで「教育は単なる消費支出ではなく、どの国にとっても教育予算は国民とその将来への唯一の最も重要な投資になる」と発言しています。国の責任で重すぎる学費を引き下げることで、奨学金制度の充実が求められています。

(編集委員 恵藤)

レイベアノーツ学習 レイベアノーツから学ぶ 地域を巻き込む戦略

福岡県労連 渡邊宏



レイベアノーツ大会に世界から労働運動活動家が結集

4/17〜22でレイベアノーツ大会に参加しました。レイベアノーツとは1979年に創設され、月刊雑誌『レイベアノーツ』(http://labornotes.org/)を発行する労働者教育団体であり、全米の労働活動家のネットワークでもあります。2年に一度、大会が開かれ、世界中から労働運動活動家が集まり実践を報告し交流をしています。大会は1000を超えるワークショップと本大会で構成されており、ひとつひとつのプログラムが濃厚な内容

でした。ですが、議論している中身自体は日本とそんなに変わらなとも感じました。民営化・ギグワークの問題などは、日本とも共通する課題であり対策という点でも重なる部分が多くありました。大きく違うと感じたのは、一人ひとりの熱量と覚悟の違いでした。それを物語るものとしてCTU(シカゴ教職員組合)のスピーチを紹介しました。「新自由主義のもと学校の民営化がすすんでいる。それを押しとどめるため、声をあげることが危険を伴う。でも多くの教職員が子供に与える悪影響というのを、マスコミが商売の道具にされれば、経済格差が教育格差となり子供たちの権利を侵害することになる」ということをレポートにまとめ、民営化が子供に与える悪影響というのを、マスコミ

レイベアノーツ学習会開催決定!!

福岡地区労連では6月23日に第62回評議員会を開催します。今回は、福岡県労連の渡邊様より特別公演として『レイベアノーツ学習会』を開催します。参加お待ちしております。WEB参加はQRコードからご覧いただけます。



WEBはこちらから参加

ミなどを通じて情報発信を行いました。また、マップをつくり戸別訪問で対話をする中で、運動に保護者を巻き込んでいきました。

ここから得られる教訓は、大きな視野で問題をとらえ、それを労働組合の枠だけでとめるのではなく、マスコミや地域住民を巻き込む戦略を立てて実行したこと。すぐに応用できることではありませんが、できることから実行して地域から社会を変える運動を広げていきたいと思います。

<『戦争できる日本』への動き>

自衛隊病院で冷凍血液を使用・製造する準備が

福岡県民医連・福医協労組(幹事) 伊藤絹江

私は元日本赤十字社の職員として全日赤での活動していました。当時の仲間より本社との交渉で「自衛隊内で血液の長期保存について

消費増税減税へ 自民党政治を変えよう 消費増税廃止福岡県各界連絡会 有馬精一

消費増税廃止福岡県各界連絡会は6月2日、経済ジャーナリストの萩原博子さんを講師に第9回消費増税減税大学習会を開催しました。福岡市内の天神ビルをメイン会場に、福岡県内の5つの地域会場(北九州・筑豊・筑前・久留米・大牟田)をオンラインでつなぎ、県各界連加盟団体や各団体、市民など328人が参加しました。

第9回消費増税減税大学習会 主催：消費増税廃止福岡県各界連絡会 2024年6月2日



経済ジャーナリストの萩原博子さんを講師に大学習会

増え日本の不況を増長させることなどを強調し、こんな政治はかえなくては、と訴えました。立憲民主党の野田国義参院議員、日本共産党の田村貴昭衆院議員も参加し、共に消費増税や裏金問題の解明、大軍拡反対、自民党政治を終わらせようと呼びかけました。参加者からは「消費増税・インボイスはやめるべき」「本気で自民党政治を終わらせないと一億総貧困が目の前にやってくる」などの感想が寄せられました。

研究している」という情報を得て調べたところ、東京新聞の記事で戦争準備をしていたことが明らかとなりました。現在、日本の血液事業は国から委託され、日本赤十字社が血液供給を行っています。赤血球を含む全血は2〜6℃で原則21日間しか保存出来ず、冷凍すると溶血します。ただし、特殊な方法により10年以上という長期の冷凍保存が可能となります。防衛省内では台湾有事を想定し、日赤の研修を



※血液製剤イメージ

受けて自衛隊病院で冷凍血液を使用・製造する準備をしていました(東京新聞 2024年3月4日より)。2023年度予算に9,000万円を計上し冷凍血液製剤を製造するた

- 第64回福岡地区労連評議員会
6月23日(日)
13:00〜17:00
- 石綿健康被害を増やさないためのシンポジウム
7月7日(日)
14:00〜16:30
- 福岡市立中央市民センター大ホール
国民平和大行進
7月12日(金)〜
7月15日(月)
春日市引継ぎ
福岡市内行進
新宮町引渡し